

5 徳島の産業構造と特徴的な企業を知る

●製造業のがんばりが目立つ

徳島の産業構造をそれぞれの産業で働く人（就業者）の数や付加価値額の割合で見てもましよう。

農林漁業といった第1次産業で働く人は全体の1/10、製造業や建設業といった第2次産業は1/4、卸・小売業、サービス業、運輸・通信業、金融・保険業、不動産業など幅広い業種を含む第3次産業は2/3です（2015年国勢調査）。

それぞれの産業が県内で新たに生み出したモノやサービスの価値（付加価値）でみると、第1次産業は全体の2%、第2次産業は3割強、第3次産業は約2/3です（2017年度の県内総生産）。

第1次産業の割合が案外小さいと思われるでしょうが、それでも全国に比べれば大きいです。第2次産業、特に製造業の総生産の割合は全国に比べかなり大きく、その分、第3次産業の割合は全国よりも小さめ、というのが徳島の産業構造の特徴です。

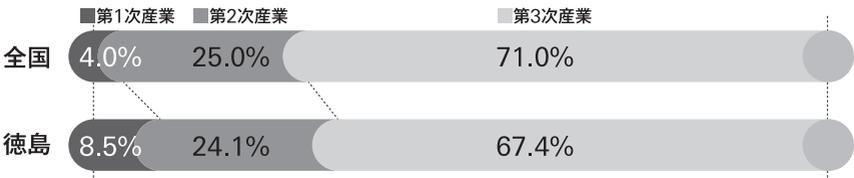
産業構造の変化については、一般的に、技術革新によって生産性が高まると、産業間所得格差が生まれ、より高い所得を求めて産業間の労働力移動が起こり、第1次産業から第2次産業へのシフト、いわゆる工業化が進展すると言われています。

さらに、工業化を経て産業社会が進展すると、所得の増加に伴い以前より生活水準を大きく向上させる家電製品や自動車といったモノが普及します、その後、モノよりもサービスへの需要が高まって、サービス産業が発展し、第2次産業から第3次産業へのシフトが進む、と言われています。

徳島の産業構造の変化も全国と同様、こうした大きな流れに沿って、第3次産業、特にサービス業の割合が大きくなってきました。

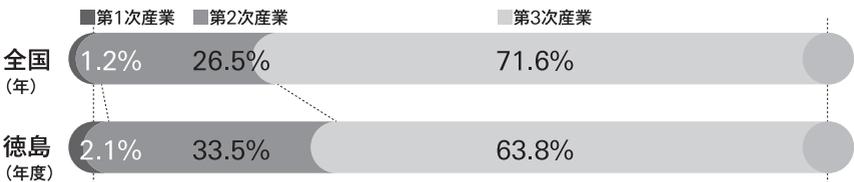
2015年 就業者の割合

(注) 分類不能を除いて算出。



2017年 総生産(GDP)の割合

(注) 控除等で合計は100%にならない。



ひと口にサービス業といっても提供するサービスは多種多様です。クリーニングや理容・美容業のような生活関連サービスがあれば、映画館、遊園地などの娯楽業や旅行、ホテル・旅館といった余暇関連サービス、学校や塾などの教育、学習支援サービス、また労働者派遣業や警備業、情報サービス業といった事業所向けのサービス、さらには医療や介護、社会福祉といった公共サービスもあります。

サービス業は新しく参入するのが比較的容易な反面、流行の変化も激しい産業です。徳島では、県内の優れたブロードバンド環境を最大限に活かし、IT関連やコールセンターなど情報通信業の誘致を積極的に進めています。

政府の成長戦略を見ると、ITをあらゆる産業や生活により一層浸透させていくことを柱としており、サービス分野では特に物流、ヘルスケア、環境・エネルギー、観光などの振興や改革に力を入れています。

近年、徳島ではこうした大きな流れの中で、全国の動きとは異なり製造業の割合が増えているのが特徴的です。徳島の製造業といえば、大塚グループや日亜化学工業（株）を思い浮かべる方も多いでしょう。たしかに、両グループが属する「化学」と「電子部品・デバイス・電子回路」を合わせた県内出荷額は製造業全体の50%以上を占めており、圧倒的な存在感を示しています。ただこの他にも、独自の技術力などを生かし、特定の市場にお

いて高い世界シェアや国内シェアを持つ企業（ニッチトップ企業）が多くあり、徳島の経済のけん引役としてがんばっています。

●徳島の特徴的な企業を巡ってみよう

大塚グループ、日亜化学工業（株）は別の章で取り上げるとして、県内の特徴的な企業を徳島市から巡ってみましょう。

●阿波製紙（株）（徳島市）

私たちが日常使う紙ではなく、エンジン用フィルター、オートマチック車のクラッチ板用摩擦材、合成繊維紙などの特殊紙や不織布などを製造しています。エンジン用フィルターは、国内全自動車メーカーに採用され、国内トップシェアを有しています。合成繊維紙として開発した分離膜支持体は水処理に用いられており、世界トップシェアを占めています。近年では炭素系素材を使用した熱拡散材、断熱材、CFRTP（炭素繊維強化熱可塑性プラスチック）などを開発・製品化しています。

なお、創成期の役員は大半が藍商人であり、三木家が筆頭株主でした。

●（株）ジャストシステム（徳島市）

一世を風靡した日本語ワープロソフト「一太郎」は、電子書籍作成ツールとしても進化

しています。また、日本語入力システム「A T O K」エイトックは、パソコンやスマートフォンなど幅広い製品で使われています。最近では、幼児・小中学生向け通信教育「スマイルゼミ」等の教育分野や法人向けクラウドサービスなどに注力しており、幅広い市場に対してさまざまな商品・サービスを展開しています。

●西精工（株）（徳島市）

自動車、航空機、電機・半導体、各種機械、ホビー関連など幅広いメーカー向けに、ナットやパーツ類などを製造しています。建機など大きな機械向けからメガネ用の極小のものまで、数多くの種類を生産できる体制を整えています。

●坂東機工（株）（徳島市）

自動車のフロントガラスやサイドガラス、液晶パネルガラスや太陽光パネルガラスなどの加工装置を製造しています。特に自動車の窓ガラスの加工装置は、国内シェア90%以上、世界シェア70%以上を有しています。

●東光（株）（徳島市）

1968年に日本で初めてパンティストッキングを製造した、女性靴下業界の先駆者の企業です。近年の主力製品には、「疲れを和らげる」ことを目的とした機能性ストッキングやリンパ浮腫ふしほなどの治療用ストッキングなどがあり、いずれも独創的で付加価値の高

い製品です。

● 港産業（株）（徳島市）

工場設備機器大手の代理店業務を行うとともに、自動制御技術、エンジニアリング、ソフトウェア開発などの総合力により、工場やプラントの自動運転設備、検査の自動化機械などを提供しています。また、オリジナル製品の開発も行っており、ゆず・すだちの搾汁製造装置や菌床シイタケ製造設備などは徳島の農業に大きく貢献しています。

● 船場化成（株）（徳島市）

包装資材の総合メーカーで、主にポリエチレンフィルムを製造しています。買い物袋やゴミ袋、工業用フィルム、食品用フィルムなど。ポリエチレンフィルムの用途は多岐にわたります。サトウキビを原料にしたもの、極薄で高強度のもの、紙のような風合いのものなど、高い付加価値の商品を製造しています。

● （株）和合（徳島市）

従来の卸売のスタイルから脱却し、ソックス、インナーウェアなどの企画・製造・販売を行う総合商社であり、フランチャイズチェーン（FC）の靴下専門店「Hanako」を全国展開しています。FCとは、特定のノウハウをもつ本部が加盟店に対し、商品やサービス、店舗設計など経営全般のノウハウを含めた販売権を提供し、加盟店が手数料を支払

うシステムのことです。

●(株)アイピー(徳島市)

鶏にわとりの卵からひなをかえす大型の機械(孵卵機ふらんき)の製造を行っており、国内の生産シェアは8割以上を占め、世界でも有数のトップメーカーとなっています。ここで培つちかった温度管理技術が、食品の鮮度と味を保つ冷凍冷却機械の製造にも生かされています。

●(株)キヨーエイ(徳島市)

県内最大手のスーパーマーケットチェーンです。生産者が農産物の価格を決めて好きな量だけ出荷できる「すきとく市」が好評で、関西のスーパーにも出店しています。また、第2章で述べた移動スーパー「とくし丸」と提携し、商品を供給しています。

徳島市周辺の町にも特徴的な企業があります。まず板野郡から。

●赤松化成工業(株)(松茂町)

食品パッケージのメーカーであり、容器包装に使われる包装フィルムグラビア印刷を手がけるとともに、豆腐、餃子、とろてん、農産物、コップなどのプラスチック製の食品容器を製造しています。植物由来の「BIO PET(バイオペット)」を原材料にした商品も製造するなど、環境問題への対応にも力をいれています。

●(株) マルハ物産 (松茂町)

レンコン生産全国1位の茨城、2位の徳島に加工工場をもち、全国各産地の品種を取り扱うレンコン加工品生産量日本一の企業です。また、ゴボウ、ニンジン、山菜、キノコなども扱っています。1978年に中国からレンコン加工品の輸入を開始し、今では安定した供給体制を実現するなど、有力な海外ビジネス企業としても高い評価を受けています。

●四国化工機(株) (北島町)

紙容器やプラスチック容器に、飲料や液体食品を自動的に充填する機械のトップメーカーです。中国の生産拠点をはじめドイツ、タイ、米国にも現地法人を設置するなど、世界に事業展開しています。このほか、食品用のカップやフィルムなどを扱う包装資材事業や、「さとの雪」ブランドの豆腐や惣菜など大豆加工食品の製造も行っています。

●富士スレート(株) (北島町)

従来の陶器瓦より40%軽量化するとともに、防水性、耐衝撃性なども向上させた高分子繊維強化セメント瓦を主力としています。この瓦は、住宅の耐震性向上に役立つことほもちろんのこと、物流コストを大幅に引き下げ同社の商圏拡大に大きく貢献しました。また住宅での太陽光発電が拡大する中、新たな太陽光パネルの設置工法を開発しており、この

分野では四国屈指の実績をあげています。

●徳島カム(株) (北島町)

カムとは、機械の回転軸に取り付けられる部品の一つで、回転しながら別の部品に一定のタイミングで動力を伝える働きを持ちます。カム専門メーカーとして、注文を受けてからつくるオーダーメイドカムの売り上げは国内2位であり、「日本一早い納期」を売りとしています。

●(有)竹内園芸(板野町)

トマト、ナス、キュウリといった果実のなる野菜を中心に、2000品種以上の苗の生産を行う国内有数の育苗業者です。特に野菜苗の年間生産本数は全国トップクラスで、全国の農家、農協、種苗店、量販店などに販売しています。群馬県や熊本県にも農場を持っており、関東、九州地区への安定供給を実現しています。

●日新酒類(株) (上板町)

江戸時代末期から続く酒造蔵の技を受け継ぎ、清酒、焼酎をはじめ、リキュール、果実酒、本みりんなど多岐にわたる商品を手がける四国唯一の酒類総合メーカーです。清酒「瓢太閤ひょうたいたい」、リキュール「すだち酎」、焼酎「鳴門金時 里娘」などのブランドで知られています。

次は鳴門市の特徴的な企業を見てみましょう。塩に関連する企業が目立っていることが特徴です。

●富田製薬(株) (鳴門市)

1877年に国内で初めて苦汁(にがり)(海水成分)から胃腸薬の原料となる塩基性炭酸マグネシウムの合成に成功した、無機化学工業薬品メーカーのパイオニアです。医薬品、食品などさまざまな分野に用いられるナトリウム、カルシウム、マグネシウム等の化合物を手がけており、現在は人工腎臓用粉末透析剤が主力商品です。

●鳴門塩業(株) (鳴門市)

小鳴門海峡のきれいな海の水を原料に、最も自然に近い方法で美しい塩をつくり続けています。塩は人間の体にとって必要不可欠な成分であり、点滴や人工透析にも使われています。2002年には、国内の製塩メーカーで初めて医薬品製造許可を取得しました。

●馬居化成工業(株) (鳴門市)

1599(慶長4)年に、製塩業として創業しました。現在は試薬・医薬品原薬、化粧品、肥料、飼料・食品添加物などに使用される精製硫酸マグネシウムの生産で、国内6割強のシェアを占めています。近年は多角化も進めており、ディーゼル車用の窒素酸化物処理剤、動物用の乳頭殺菌消毒剤、入浴剤、コンクリート改質劣化防止剤などを商品化し

ています。

●(株)宮崎椅子製作所(鳴門市)

デザインと品質を重視した、付加価値の高い自社オリジナル椅子の製作を行っています。2002年から10年連続でグッドデザイン賞を受賞するなど、国内で高い評価を得てきました。また海外の家具愛好家からも注目されており、今では売り上げ全体の20%以上を海外販売が占めています。

●丸久(株)(鳴門市)

子供服、婦人服、紳士服の企画・生産および全国量販店・専門店への販売を手がけるアパレルメーカーであり、タイ、バングラデシユに生産拠点をもっています。特にバングラデシユの工場では、2千人規模の現地社員を雇用しており、編み立て、染色も兼ねた一貫生産を行っています。

県西部の吉野川市や美馬市にはこんな企業があります。

●日本フネン(株)(吉野川市)

防火、防犯、耐震性、安全性に加え、機能性、快適性に優れた玄関スチールドアなどを製造しています。新築分譲マンションの市場では全国1位、賃貸マンション・アパート

トなど集合住宅の市場では3位のシェアを占めています。そのほか、現行の歩行者信号機などにそのまま装着できる「LED電球」、軽量化と高い強度を両立したGRC（耐アルカリ性ガラス繊維で補強したセメント製品）を市場化するなど、多角化も進めています。

●（株）ヨコタコーポレーション（吉野川市）

ベアリング（軸受）旋削・加工をメインとしており、国内業界トップクラスの企業です。また、各種自動車部品の精密加工や自動車部品製造ラインにおける組立機や検査機などの製造も手がけています。この製造部門とは別に、フランチャイズでのリースショップ、ショッピングセンターの運営や、新築・リフォーム、空き家管理など住宅事業にも取り組んでいます。

●阿波スピンドル（株）（吉野川市）

繊維を糸にすることを紡績と言いますが、紡績の糸を巻き取る機械の軸（スピンドル）の生産で圧倒的なシェアを占めています。1分間に100万回転する超高速スピンドルも生産しており、同社が確立した「AWAブランド」の繊維機械部品は国内外の繊維機械メーカーに広く利用されています。また紡績だけではなく、工作機械や電子部品製造装置、検査装置などの分野でも広く用いられています。

● (株) 河野メリクロン (美馬市)

シンビジウム (洋ランの一種) の品種改良と種苗生産で世界最大規模の企業となっています。オランダで10年に1度開催される世界最大級の園芸博覧会「フロリアード2012」で金賞を獲得し、世界一の花と評価されました。シンビジウムの多用途化にも取り組んでおり、発毛・育毛剤、抗酸化剤、抗菌剤、抗がん剤、抗炎症剤などで特許を取得するとともに、製品化につなげています。

最後に、小松島市や阿南市、海陽町など県南部の企業を見てみましょう。

● ニホンフラッシュ (株) (小松島市)

住宅用室内ドアや収納ユニットなどの内装システム部材の製造を行っており、分譲マンション向け内装ドアのシェアは国内トップクラスです。早くからITを積極的に活用することで、数十万種類におよぶ多品種少量生産と、受注から納品までの期間を1か月から5日に短縮するなど大幅な短納期化を両立させています。また2003年に中国の江蘇省に工場を新設して以降、他の地域でも工場を設立するとともに営業所も多数展開するなど、中国でのビジネスを大きく拡充しています。

● (株) 山本鉄工所 (小松島市)

産業用プレス機械の製造をメインにしており、中でもベニヤ合板用プレス機では国内生産シェアトップであり、世界30か国以上に輸出しています。また、環境リサイクルプラントにも力を入れており、破碎機、圧縮機、ペットボトル減容機、アルミ選別機などの装置のほとんどすべてを自社で製造しています。

● 市岡製菓 (株) (小松島市)

徳島を代表する菓子メーカーであり、「なると金時」、「阿波やまもも」、「木頭ゆず」など徳島産の素材にこだわった菓子づくりに取り組んでいます。またグループの(株)ハレルヤでは、私たちにとってなじみ深い「金長まんじゅう」などを生産しています。2018年にはベトナムに工場を新設しており、成長が続く東南アジアでの販路拡大に取り組んでいます。

● (株) GF (阿南市)

(株) GFの母体である藤崎電機(株)は1973年に電気制御工事からスタートし、電気機械器具やプラント自動化設備の製造を行ってきました。また、世界一微細な粉体製造が可能な噴霧乾燥装置など、オリジナルな機械の開発も手がけてきました。2011年設立の(株)ガイアパワーは、太陽光発電など自然エネルギー事業を展開してきました。

2019年にこの両社が合併し、(株)GFが誕生しました。

●(株)丸本(海陽町)

グループの生産拠点^は清流海部川の流れる海陽町にあり、全国的に有名な徳島の地鶏「阿波尾鶏」^をはじめとする鶏の肥育管理・鶏肉製造・二次加工・加熱加工に至る一貫システムに加え、卸・小売に至る6次産業化を実現しています。またこれらの資源を生かして、ペットフードや有機性肥料などの製造も行っています。

以上、徳島県内に本社を置く特徴的な企業を紹介しました。産業用の部品や機械、設備などを製造している企業も多く、なじみがないと感じられたかもしれませんが、高い技術力を持ちがんばっている企業が数多くあることが理解できたのではないのでしょうか。

このほかにも、ジェイテクト、パナソニック、サンスターなど県外に本社を置く企業も徳島に工場を設置しており、産業や暮らしを支える重要な製品が生み出されています。

●企業の新陳代謝は少ない

企業が発展し生き残っていくためには、社会のニーズや技術の変化などに対応し、時代とともに製品やサービスの内容を変えていく必要があります。



こうした企業内部の変革だけでなく、新しい技術や豊かな創造力をもつ新規開業企業の登場は、新たな産業や事業を生み出すと同時に、既存の企業との競争を促し、経済社会全体の新陳代謝を進める効果があり、産業構造の変化に大きく影響します。

一方、廃業など、寿命を終えた企業の市場からの退出は、産業の再活性化につながるため必ずしも悪いことではなく、むしろ廃業に伴う経済的損失を上回る効果が、新しく開業する企業によってもたらされるかどうかが重要です。

徳島の事業所の開業・廃業をみると（2014～16年）、この期間に約3800の新設があったのに対し、約5200が廃止しています。つまり、新たにつくった事業所より廃止した事業所の方が多い状況です。開廃業率は業種によってばらつきがありますが、開業率・廃業率とも全国平均を下回っており、新陳代謝の少ない経済になっています。

次に紹介する大塚製薬（株）や日亜化学工業（株）も、一人の経営者が事業を興したことから出発しました。チャレンジ精神に富んだ企業が今後も続々と現れることを期待しています。